

住民センターのあり方審議の方向性について

令和元年10月4日 時点

1. 目標設定

近い将来、確実に訪れる更なる人口減少、少子高齢化社会においても、持続可能な集会施設として、住民センターの管理運営等の手法や公民の役割分担の適正化について審議します。


2. 答申の骨子

項目	<ul style="list-style-type: none"> ○運営について（主体／行政・市民）（手法／維持管理・コスト） ○施設について（耐震・老朽化・寿命） ○目標期間について（短期・中期・長期）
----	---

3. 審議会での検討項目

検討項目		内容
(1) 運営について	①役割について	○地域の拠点に求められる機能
	②維持管理費について	○費用負担 (光熱水費・修繕費等)
	③使用方法について	○収益の確保 ○使い勝手
	④見直し後について	○管理の手法
(2) 施設について	①大規模改修について	○費用負担
	②条件整理について	○新築、建替え、移転
		○施設改修 (耐震、内外装、設備、バリアフリー)
		○維持管理に係る費用補助 (補助割合、補助額、補助期間)
③不要施設の取り扱いについて	○転用、売却、除却	
(3) スケジュール	①目標期間について	○短期・中期・長期目標の設定

4. スケジュール

	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度～ (令和4年度～)
あり方検討（審議会の開催等）				審議会での答申を踏まえて、住民センターを運営
各自治会・市民への説明・周知（説明会等開催）			